

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 アルファグループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 伸一郎
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松浦 孝暢 TEL 03-5469-7300
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,282	6.0	498	9.1	525	7.7	307	11.4
2023年3月期第3四半期	9,702	0.6	456	△25.1	487	△25.6	276	△35.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 307百万円 (11.4%) 2023年3月期第3四半期 276百万円 (△35.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 58.35	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	円 銭 48.84	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,665	4,817	55.6
2023年3月期	9,248	5,147	55.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,817百万円 2023年3月期 5,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年3月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	2.5	728	27.8	759	38.3	399	70.8	70.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は2023年8月29日及び2023年9月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。

なお、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式取得の影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	6,962,400株	2023年3月期	6,962,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,170,366株	2023年3月期	1,309,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,272,532株	2023年3月期3Q	5,652,634株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①全般的概況

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へと移行し、社会経済活動の正常化が進む一方で、地政学的リスクの高まりや為替変動による原材料や原油価格の高騰、これに伴う物価上昇等、依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境下で、当社グループは強みである「STOCK」の強化のため、これまで構築してきた基盤からもたらされる継続的な収益の維持に努めるとともに、新たな商材の開発に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高102億82百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益4億98百万円（前年同四半期比9.1%増）、経常利益5億25百万円（前年同四半期比7.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億7百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

②セグメント情報

<5Gマーケティング事業>

5G対応通信端末の普及や関連サービスの高度化、本体価格の高騰による買い替えサイクルの長期化、さらに、一部の通信事業者においてオンライン手続の強化やキャリアショップの統廃合の方針が掲げられるなど、モバイル市場は変革の時期にあります。

このような動向を受けて販売代理店の役割も変化しつつある中、当社グループは、引き続き通信端末販売の代理店展開及び直営店舗での販売の展開に努めてまいりました。オンラインによる新たな販路の開拓を企図して独自のWEBメディアの運営に取り組む一方で、実際の販売ショップにもなお大きな需要が見込まれると判断し、商業施設等の好立地への出店を継続しております。また、サービスが複雑化し高い専門性が求められる販売ショップに特化した人材派遣においても、人材確保等の事業拡大に向けた動きに注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は81億22百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益は2億82百万円（前年同四半期比151.2%増）となりました。

<B to Bイノベーション事業>

現在の主軸であるオフィス文具通販の代理店展開に関しては、競合他社のみならず大手通販サービスも市場へ参入していることにより厳しい状況にありますが、コロナ禍の収束に伴う経済活動の正常化により売上高及び営業利益のいずれも増加しております。また、特定の取引先に依存しない新たな収益基盤の構築のため、これまでグループ全体で構築してきた法人顧客網を活用できる事業者向けの商材やサービスの開発にも引き続き取り組み、特に近時では、医療・社会福祉法人向けのコンサルティングサービスの利用者拡大に向けた営業活動に注力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億81百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は1億67百万円（前年同四半期比27.9%増）となりました。

<環境サステナ事業>

現在の主軸であるLED照明機器の販売・レンタルにおきましては、数期に亘る営業活動の結果として当社グループの提供するサービスを利用する医療施設の規模は40,000床を超え、これらの顧客から月々のレンタル料を受領することにより、堅調な利益を確保しております。

電力小売やエネルギー利用状況等に関するコンサルティングサービスでは、原油価格の高騰を受けた電気料金の高騰により新規顧客獲得に向けた積極的な営業活動は見合わせているものの、既に獲得した顧客から発生する収益は一定規模に達しております。また、太陽光発電やウォーターパックの販売によっても安定的な収益がもたらされております。

さらに、前事業年度より本格的に営業活動を開始したEV充電サービスについても、補助金等を活用した充電器設置サポートの提案を、充電器の設置が利便性の向上に繋がるような施設の管理又は運営をする事業者を主要なターゲットとして展開しております。充電インフラの整備によりEVが順調に普及し、充電器利用者が拡大することによって、利用量に応じた手数料を安定的に収受するという新たな収益基盤の確立のため、協力企業も増やしつつ積極的な先行投資を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15億81百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は48百万円（前年同四半期比77.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は86億65百万円で、前連結会計年度末に比べ5億83百万円の減少となりました。主な減少は、現金及び預金の減少7億89百万円、売掛金の減少2億90百万円等であり、主な増加は、リース債権及びリース投資資産の増加3億8百万円、商品の増加2億10百万円等であります。

負債は38億47百万円で、前連結会計年度末に比べ2億53百万円の減少となりました。主な減少は、1年内返済予定の長期借入金の減少2億5百万円、短期借入金の減少2億円、買掛金の減少1億60百万円等であり、主な増加は、長期借入金の増加2億57百万円等であります。

純資産は48億17百万円で、前連結会計年度末に比べ3億29百万円の減少となりました。主な減少は、自己株式の取得による減少5億69百万円、配当金の支払いによる利益剰余金の減少67百万円であり、主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加3億7百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の業績予想から修正はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,599,013	1,809,253
売掛金	1,300,786	1,009,914
リース債権及びリース投資資産	1,022,515	1,330,812
商品	700,165	910,870
貯蔵品	1,583	2,140
その他	1,029,434	1,035,064
貸倒引当金	△1,036	△735
流動資産合計	6,652,461	6,097,319
固定資産		
有形固定資産		
土地	152,736	152,736
その他	804,754	947,766
有形固定資産合計	957,491	1,100,502
無形固定資産		
のれん	109,016	76,311
顧客関連資産	6,666	—
その他	130,027	103,991
無形固定資産合計	245,711	180,302
投資その他の資産		
差入保証金	1,032,830	962,436
その他	403,611	396,914
貸倒引当金	△43,768	△72,448
投資その他の資産合計	1,392,674	1,286,902
固定資産合計	2,595,876	2,567,707
資産合計	9,248,338	8,665,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,295,933	1,135,871
短期借入金	850,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	389,906	184,742
未払法人税等	73,283	150,237
賞与引当金	29,156	17,280
その他	926,240	895,258
流動負債合計	3,564,520	3,033,389
固定負債		
長期借入金	309,260	566,826
役員退職慰労引当金	77,174	79,199
資産除去債務	68,506	88,020
その他	81,105	79,771
固定負債合計	536,045	813,817
負債合計	4,100,566	3,847,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,734	728,734
資本剰余金	686,036	686,036
利益剰余金	4,618,338	4,858,151
自己株式	△885,139	△1,454,954
株主資本合計	5,147,970	4,817,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△198	△146
その他の包括利益累計額合計	△198	△146
純資産合計	5,147,771	4,817,820
負債純資産合計	9,248,338	8,665,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	9,702,284	10,282,289
売上原価	6,597,301	6,974,822
売上総利益	3,104,983	3,307,467
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	134,869	202,459
繰延リース利益繰入額	223,186	288,168
売上利益調整額	△88,317	△85,709
差引売上総利益	3,016,666	3,221,757
販売費及び一般管理費	2,559,755	2,723,259
営業利益	456,910	498,498
営業外収益		
受取利息	18,972	26,279
受取手数料	11,045	10,104
その他	5,863	4,195
営業外収益合計	35,880	40,579
営業外費用		
支払利息	4,894	4,202
暗号資産売却損	—	7,352
その他	0	2,118
営業外費用合計	4,894	13,673
経常利益	487,896	525,404
特別利益		
受取立退料	—	93,132
特別利益合計	—	93,132
特別損失		
固定資産売却損	35	—
固定資産除却損	5,710	3,503
投資有価証券評価損	—	50
減損損失	14,640	15,288
解約違約金	8,788	6,442
特別損失合計	29,174	25,284
税金等調整前四半期純利益	458,722	593,252
法人税、住民税及び事業税	127,163	227,680
法人税等調整額	55,458	57,926
法人税等合計	182,622	285,607
四半期純利益	276,099	307,644
親会社株主に帰属する四半期純利益	276,099	307,644

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	276,099	307,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	51
その他の包括利益合計	54	51
四半期包括利益	276,154	307,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,154	307,696
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月29日及び2023年9月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式860,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が569,815千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,454,954千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	5G マーケティング 事業	B to B イノベーション 事業	環境サステナ 事業	計		
売上高						
顧客との契約か ら生じる収益	7,619,058	519,972	834,500	8,973,532	—	8,973,532
その他の収益 (注) 3	—	—	728,752	728,752	—	728,752
外部顧客への 売上高	7,619,058	519,972	1,563,253	9,702,284	—	9,702,284
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,115	8,927	10,043	(10,043)	—
計	7,619,058	521,088	1,572,180	9,712,328	(10,043)	9,702,284
セグメント利益	112,322	131,107	213,480	456,910	—	456,910

- (注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
 2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号)」に基づく収益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「5Gマーケティング事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。
 なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間において14,640千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	5G マーケティング 事業	B to B イノベーション 事業	環境サステナ 事業	計		
売上高						
顧客との契約か ら生じる収益	8,122,276	580,666	598,786	9,301,728	—	9,301,728
その他の収益 (注) 3	—	—	980,561	980,561	—	980,561
外部顧客への 売上高	8,122,276	580,666	1,579,347	10,282,289	—	10,282,289
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	600	1,030	2,043	3,673	(3,673)	—
計	8,122,876	581,696	1,581,390	10,285,963	(3,673)	10,282,289
セグメント利益	282,125	167,662	48,709	498,498	—	498,498

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号)」に基づく収益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「5Gマーケティング事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間において15,288千円であります。